

特定非営利活動法人 けやの森自然塾



林あそびにて

所 在：狭山市

構成員：120家庭

狭山市を中心に、近隣の日高市や飯能市、入間市、川越市、所沢市などに住む子どもたちとその家族で、自然の好きな方々が会員となっています。

幼少期からの自然体験活動

～子どもの成長に欠かすことのできない感性を育み、
将来の人格形成の基盤をつくる～



受賞の主な取組

- ・ 民有林を借り受け、年間延べ 1400 人の幼児が生きもの探し・クラフト・間伐体験・植樹活動・間伐材を使った遊具での遊びなどの五感で自然を感じる「林あそび」を実施。
- ・ 下草刈り、間伐、コナラのドングリを使った苗木作りなどの「林の整備保全活動」により、子供たちが自由に遊べるスペースを確保し、林あそびの場として活用。
- ・ 教職員を対象とした「自然の遊び研修会」を開催。

取組をはじめたきっかけ

昭和53年から、けやの森学園幼稚舎で自然体験活動を豊富に行っていました。が、「小学校では機会がないので続けさせたい。」という父母や地域の強い要望で、平成4年に「けやの森自然塾」を発足させました。その後、冒険活動などのメニューを追加し一層充実した活動に取り組んでいます。

これからの展望

活動の範囲を広げるにより参加者を増やし、感性のある子どもや自分で判断し行動できる子どもを育て、ひいては自立した子どもと家庭を地域の中に根づかせていきたいと考えています。そのために更なる研鑽に努め、取り組んでいる自然体験活動についての報告書を発行するなどして、広く広報していきたいと考えております。



チャレンジカヌー



林あそび（パン焼き）

受賞して



幼少期からの自然の体験が子どもの成長に必要であることが認められたと感じ、大変うれしく思い、感謝しています。